

NPO 法人「神奈川フォスターケアサポートプロジェクト」研修会

第一部 対応の難しい子への関わり ～子どもの理解と対応～

第二部 里親家庭で育った子ども達の声 ～スクーリング修了生の話と懇談～

NPO 法人「神奈川フォスターケアサポートプロジェクト」(通称 ^{ケイ}K FoCS) は、
里親家庭で育つ子ども達への自立支援活動を行っています。

子どもの自立を願いながら、日々の養育に心を砕いていらっしゃる皆さまへ。

自立とは、子どもが就職し独り立ちすることだけを意味するものではありませんし、中高生になってから対応すればよいという問題でもありません。子どもの自立を促すために、中高生に限らず、幼少期からの養育の中で、養育者としてどのような関わりが求められているのでしょうか？ 里子のなかには、対応の難しさを抱える子どもが少なくありません。そこで、今回の研修会では、第一部として「対応の難しさ」を抱える子どもたちへの対応について取り上げ、愛着の問題等を抱える親子への支援を実践されている講師を招いての講演会を、第二部として本会が実施している「自立のためのスクーリングプログラム」修了生(元里子)による体験発表会を企画しました。

子どもたちが抱えている「生きづらさ」を理解し、養育へのヒントとなることを願っています。多くの方のご参加をお待ちしています。

NPO 法人神奈川フォスターケアサポートプロジェクト 理事長 前田誠一

日時 2018年 2月 4日(日)

第一部 午前 10時～12時 (受付 9時30分～)

- ・「神奈川フォスターケアサポートプロジェクト」の紹介
- ・講演会「対応の難しい子への関わり ～子どもへの理解と対応～」
講師 ライフデザイン総合研究所 所長 榊原明美 氏

第二部 午後 1時～2時30分 (受付 12時45分～)

スクーリングプログラム修了生の体験発表と懇談

場所 相模原市立 市民・大学交流センター「ユニコムプラザさがみはら」
セミナールーム1 (bono 相模大野サウスモール 3F)

申し込み 参加申込書にご記入の上、メールまたは
ファックスでお申し込み下さい。

メール: 1m_takahashi@ktb.biglobe.ne.jp
ファックス: 044-977-2263 高橋宛

締め切り 1月20日(土)

参加費 第一部のみ/第二部のみ 500円
終日参加 800円

保育 あり(事前申し込み必要・定員10名)
スタッフの手配等あるため、早めにお申し込み下さい。

*昼食は各自でご用意ください。bono・駅ビル内に飲食店があります。

